第１号議案

奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良 2019－2020」

北澤潤「You are Me」実施概要

今年度の美術プログラムでは、インドネシアのジョグジャカルタを拠点とする美術家の北澤潤氏を招聘し、奈良市内各所で展開される作品やイベントを通して、奈良と異国の日常の時間や風景が重なるひとときを体験していただきながら、身近にいる「他者」との違いを乗り越え、そこにある微かな重なりを見出して楽しむ機会をつくりだします。

北澤潤｜Jun Kitazawa

美術家。1988 年東京生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。合同会社北澤潤八雲事務所代表、STUDIO BELIMBING ディレクター。国際交流基金アジアセンター・フェロー(2016～17 年)。さまざまな国や地域でのフィールドワークを通して「ありえるはずの社会」の姿を構想し、多様な人びとの立場を越えた協働によるその現実化のプロセスを芸術実践として試みる。近作に、立ち退きを余儀なくされた住民たちと共に「理想の家」のコンテストをひらく《Ideal Home Contest》や、母国を離れて暮らす人びとの記憶から再現された街をつくる《Neighbor's Land》、異国を走る人力の乗り物を日本に持ち込み、市民に貸し出していくことで失われた路上の光景を描きなおす《Lost Terminal》などがある。2016 年、米経済紙 Forbes「30 Under 30 Asia」アート部門選出。現在、インドネシア共和国ジョグジャカルタを拠点に活動している。

全体概要

会期：2020 年 1 月 10 日（金）～2 月 1 日（土）

会場：ならまちセンター、春日大社大宿所、平城宮跡、餅飯殿センター街各所、下御門商店街

入場料／参加料：無料

出展作品

《おすそわけ横丁——FRAGMENTS PASSAGE》

日時：展示鑑賞は会期中無休 10:00-18:00　※おすそわけ参加は火・木曜休み

会場：春日大社大宿所

仮設の細道に足を踏み入れると、おすそわけがあつまる「市場」や、持ち寄ったものを自由におすそわけしあう「広場」がひろがる。家からものを持ち寄ったり、広場で敷物を広げたり、だれかに何かをゆずってもらったり。日に日に通路（パッセージ）は、ものやひとが留まり行き交う不思議な横丁空間へと変化していく。インドネシアの伝統的市場の風景と奈良の商店街の歴史を交差させることから構想された、新しい公共空間のラボラトリーが、日常にひとときの場とコミュニケーションをもたらす。

《ロスト・ターミナル——LOST TERMINAL》

日時：展示鑑賞は会期中無休　※試乗会は土日祝 10:30-12:00

会場：ならまちセンター芝生広場

インドネシアの路上を走るさまざまな機能（人力タクシー、行商、屋台）をもった乗り物をモデルに、現地の職人たちと新たに乗り物を製作。日本に輸送し、仮設のターミナルを出現させ市民に貸し出していくことで、日本の路上が失った景色を描きなおすプロジェクト。本展では、数台の乗り物を持ち込み、ターミナル空間を出現させるとともに、試乗会として街中で漕いでみるイベントを実施する。

《ノーウェア・オアシス——NOWHERE OASIS》

日時：会期中の 15:00-18:00　※火・木曜休み

会場：奈良もちいどのセンター街各所

ジョグジャカルタの街特有のシートで覆われた屋台スタイル「アンクリンガン」に着想を得たプロジェクト。公的でも私的でもなく、お店というほど店主と客の役割が明確でないあいまいな場所であるこの「アンクリンガン」が街なかに出現する。ジョグジャカルタの街の風景を表面に、屋台でくつろぐ人びとの姿を裏面にプリントした特製のシートを搭載した屋台が、街

の公共空間のすきまに設置され、小さな異国の風景と屋台の日常が現れる。どこにもないしどこでもない（no where）が、いまここ（now here）にたしかにある「行き場」を目指すプロジェクト。本展では、商店街などのすきまに屋台が設置され、夕方からインドネシアのインスタントドリンクやスナックをつまみくつろぐ場が定期的にひらかれる。
「アンクリンガン」は春日大社社大宿所にも常時設置し、インフォメーションセンターとしても活用する。

《地球の籠——KANDANG BUMI》
日時：会期中無休
会場：奈良もちいどのセンター街近辺の路地

ジャワ島の路上には、たくさんの鳥かごが吊られている。KANDANG（カンダン）は「籠や檻」、BUMI は「地球」を意味するインドネシア語。このプロジェクトは人間とほかの動物の間にある所有の関係に着目し、その不可視もしくは無意識の権力関係と愛情関係の共在状態に目を向ける。すべての生物のカンダンとも言える「地球」のイメージを用いることでそれを可視化し、新たな実用的な籠を作っていくプロジェクト。ジャワの職人がつくる鳥かごに、鳥が夜眠るためにかける籠の布を「地球の柄」に差し替えて、路上に地球が吊り下がっていく。本展では、この鳥かごにジャワの鳥をモチーフとしたおもちゃを仕込み、会期中に店舗の軒先に設置してもらう。

《ひとときのミュージアム——*MOMENTARY MUSEUM*》
日時：2020 年 1 月 18 日（土）14:00－15:30 ※雨天の場合は翌日
会場：平城宮跡朱雀門ひろば
定員：20 名（先着・事前申込優先）

ジャカルタの即興的な文化への関心から生まれたプロジェクト。奈良市内の広い屋外空間で メッセージを描いた凧を参加者同士が選び飛ばすワークショップを実施する。風が吹くと小さな凧が浮かび、スコールが降ると色とりどりの雨具を纏った人びとがバイクで行き交い、街が彩る。凧や雨具にアルファベットを描き、屋外でそれらで遊んだり纏ってみたりしながら、風景に「ひととき（momentary）」のメッセージを掲げる。ジャカルタで仕入れられた凧は飛ばすことすら難しく、風は読めず、凧はうまく並ばない。雨具をつけた人びとも並ばず視界も悪い。メッセージは楽しくも儚く浮かび消える。

その他の関連イベント

オープニング｜ツアー＆レセプション

日時：2020 年 1 月 10 日（金）

16:00－18:00 招聘作家と各作品をめぐる作品鑑賞ツアー（一般・プレス関係者向け）

18:00－19:00 レセプション（会場：春日大社大宿所）

グリーン・マウンテン・カレッジ　第 4 回

「他者性――他人の生活を想像する『シェアリング』」をテーマに、焚き火を囲んでゲストと語り合うトークイベント。

日時：2020 年 1 月 26 日（日）18:00－20:00

会場：ならまちセンター芝生広場

進行：小山田徹（京都市立芸術大学教授）

ゲスト：北澤潤（美術家）、西尾美也（美術家／奈良県立大学准教授）